



記入日	西暦 2020 年 1 月 7 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	京都市立正親小学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	③
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	守るぞ正親のまち ぼくらジュニア防災隊 もしも大災害が起こったら、ぼくは生きる、みんなを守る ステージ③「もしも大きな地震が起こったら…」を提案しよう
実践担当者のお名前	辻元 博子 葉武 佐加恵

実践にかかった金額	ぼぼ 0 円
実践の準備にかかった時間	4 時間
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 9 月～西暦 2019 年 12 月
実践の所要時間	9 時間
実践の運営側で動いた人の人数	10 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 36 人
実践を行った都道府県と市区町村	京都府 京都市
実践を行った具体的な場所	京都市立正親小学校 教室・校舎
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	高齢者体験グッズ・防災ゲーム「ナマズの学校」

達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	もしも大きな地震が起こったら、どうすればよいだろう。実際のことを想定し、意見を出し合う中で、実際の起こった場合に少しでもあわせて行動を起こすことができる。	
どの力を身につけようとしたか？ <u>該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す</u>	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに



実践内容・方法

これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください
適宜写真や図表等を入れていただいて構いません

もしも大地震が起こったら、どうすればよいのだろう。

○もしも、大地震が起こったら何が使えるだろう。

地域の、社会福祉協議会の方が、5年生の防災の取組に参加し、一緒に何かが出れば…と言う提案をいただき、「ナマズの学校」というゲームを通して一緒に考えることにした。

大地震があった時に、担架の代わりにほうきと毛布、紙とビニル袋で食器。などあるもので代用することができることに気が付いた。実際に人を運ぶなど体験することで体感することができた。



○お年寄り体験をして災害弱者について考えよう。

上記の福祉協議会の方に、災害弱者についてお話を伺った。そこで高齢者体験をすることになった。

最初に包括支援センターの方から、高齢者になるとどんなふうになるかの話を聞いた。高齢者は今のままが一番いいので、動きたがらない人が多い。もし、大地震があった時には、優しくしっかりと「避難しよう。」と呼びかけなければいけない。などの話を聞いた。その後高齢者体験のグッズを身に付け、手足が曲がりにくいサポーターをつけて階段を歩いたり、物を拾ったり、目の視野が狭く色がついているサングラスをかけ



て本を読んだり, 手袋をして紐をくくったり, 耳栓をして話したりするなどの体験をすることで, 避難の時には手を引いて相手の速度に合わせてゆっくり歩かなければいけないということに気が付いた。



○オリジナルクロスロードをして考えよう

同じ防災チャレンジプランの鴨沂高校の生徒がクロスロードをしてくれた。究極の選択がたくさんあり, 迷う中で, 実際の場面だったら…と切実感をもって考えられた。





○「もしも、○月○日 ○○な状況で、大地震が起きたら、どうすればよいのだろう。」

色々な状況で大地震が起きたならば、何をしなければならないか。一人で何をすればよいか考え、それを時系列で並べて考えた。次にグループで考え、それをクラスで考えた。最初は一次避難しか考えられなかった子供たちも回数を重ね、消防署の人や専門家にアドバイスをもらうことで、徐々に様々なことをしなければならない。また、その時と場合に応じて瞬時に判断しなければならない。と考えられるようになった。



6月11日、月曜朝8時10分、通学中に突然、マグニチュード7の大地震が発生。

古い傷んだ空き家やブロック塀などが道に倒れ、近くにはけがをしている人もいる。

あなたはどうしますか？

12月21日、火曜日の夕方6時、マグニチュード7の大地震が発生。
地震がおさまリ、まわりを見ると、家具は倒れ、食器が散乱している。両親はまだ帰ってきていない。電話(携帯)はつながらず、だれにも連絡ができない。

あなたはどうしますか？

寒さが続く2月28日、土曜日の午後2時、友達の家で遊んでいるとき、突然、マグニチュード7の大地震が発生。

停電になり、テレビや携帯電話が使えない状況。家の中には、子どもと、90歳になる友達のおじいちゃんだけがいる。

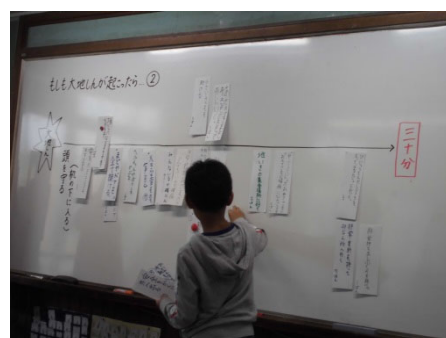
あなたはどうしますか？



一人で考え、時系列で並べる



グループで持ち寄る





グループで大切だと思えることを三つ選び、全体で時系列に並べる

○防災葉書新聞で150周年の冊子に残し、地域の人に伝えよう。

自分たちの考えたことをたくさんの人に伝えたいと、150周年冊子に載せるため、防災葉書新聞にまとめた。その内容を交流し、それを専門家に見ていただき、「ここまで頑張ったみんなだから、もっとほかの人に直接伝えてほしい。」と言われ、次に何をして伝えようかと考えることにした。



得られた成果

どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください

学習を重ねてきた子供たちだが、「もしもシリーズ」を考える前は漠然と一次避難のことしか頭がなかったことに気付いた。これでは助からないと考え、いろいろな想定で考えなければいけないことに気付いた。また、正しい正しくないはその時によって変わるので、その場で瞬時に判断をすることが重要であることに気付いた。

どのくらい身につきましたか？

該当しないものを削除し該当するものを残す

知識・技能

大いに

思考力・判断力・表現力

大いに

学びに向かう力・人間性

大いに

課題・苦労・工夫

やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください

もしも…と想定することは大切であるがそれぞれが考えていることの想定をそろえることが難しかった。さらに、一次避難からなかなか飛び出せない子どもも多かった。



★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について <u>1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください</u>	
関係者の名前・団体名	乾隆包括支援センター 児島 薫 センター長
関係者の説明	お年寄りとはどんなことが困るのかをお話し
関係者の連絡先	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について <u>1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください</u>	
関係者の名前・団体名	上京社会福祉協議会 桜井
関係者の説明	高齢者体験
関係者の連絡先	075-432-9535

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について <u>1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください</u>	
関係者の名前・団体名	サンワコン株式会社
関係者の説明	地域がお世話になっているコンサル会社
関係者の連絡先	0776-32-6178 090-2120-6623